

2016年11月18日

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

「劣後特約付ローン」による資金調達の実施について

東京海上日動あんしん生命保険株式会社(社長 広瀬伸一)は、将来の急激な環境変化が起きた場合においても財務基盤の安定性が維持できるよう、「劣後特約付ローン」による資金調達(以下、「本調達」)を実施する予定です。本調達による目的は以下の2点です。

- 現在の低金利環境を踏まえた資産運用手段の多様化に向けた備え
- 将来の金利急騰などの不確実性に対する備え

1. 本調達の背景

当社では、現行中期経営計画(2015年度～2017年度)において、リスクをコントロールしながら利益成長を実現していく方針を掲げておりますが、当社を取り巻く経営環境は大きく変化しております。歴史的な低金利環境となる中、資産運用収益の向上が課題となっております。また、日本国債の市場における流動性が低下してきていることから、日本国債に依存して機動的なALM(注)を行うことが困難となってきています。このような状況においては、運用収益を向上させつつ、保険負債の金利リスクコントロール手段の安定性を高めるため、資産運用手段の多様化が必要となっております。加えて、資本政策を検討するにあたっては、将来の金利の急騰といった金融市場の不確実性も視野に入れておく必要性が高まってきました。

(注)Asset Liability Management(資産・負債総合管理)の略称です。

2. 本調達の概要

金融機関と検討を進めている資金調達の概要は以下のとおりです。

当社において機動的な調達を実現することを目的として、ローンによる調達としております。

借入人	当社
調達金額	1,000億円程度
調達方法	シンジケート・ローン方式
借入実行日	2016年11月(予定)
借入期間	27年 (2023年11月以降は一定の要件を前提として一括して任意弁済可能)
アレンジャー	株式会社三菱東京UFJ銀行
金利条件	固定金利方式 (2023年11月以降は変動金利)

なお、本調達に対しては、格付を取得する予定です。

(参考) 2016年9月末の東京海上グループの資本の十分性については、11月18日の決算発表において公表させていただく予定ですが、本調達の効果を含めない前提であっても、AA格基準の資本要件を十分に満たす見込みです。

以上